

請願 玉川学園コミュニティーセンター（CC）建替基本計画のデッキ新設計画見直しに関する請願

請願要旨

玉川学園コミュニティーセンター（CC）建替基本計画では、CC建替とペDESTリアンデッキ設置工事を一体で行うことが公表されたが、地元住民のほとんどはデッキ設置計画について知らされておらず、40m程の長さのデッキの工事費が3.5億円と高額な予算にも驚かされた。

町田市は、財政難を理由に道路や橋などのインフラを含む公共施設等についてすべてを更新せず縮減する方針を決定して公共施設等総合管理計画（基本計画）を策定し、公共施設再編計画により、多くの図書館等の公共施設の閉鎖が行われている。

このように既存の施設等の更新も困難な好況下では、新設計画はより一層厳しく検討審査され、予算も節減に努めることが求められるが、本デッキはCC建替予算が10億円に対し3.5億円の予算で、40mほどの長さの屋根に1億円（250万円/m）もかける等、財政難下の町田市と思われない高額予算の計画である。しかも、新たに発生する維持管理費はさらに高額になると予想され、財政難を一層加速することが懸念されている。

バリアフリーを名目にしたデッキ設置は、エレベーター整備と重なる計画であり、高額予算をかけてまで設置する必要性を慎重に検討すべきであるにもかかわらず、費用対効果分析等を含む事業評価は勿論、デッキ利用者予測調査すら行わない杜撰な計画であることが説明会等で判明しただけでなく、検討委員会、ワークショップ等の検討段階での相当数の反対意見を無視していることも明らかになったことから、慎重に妥当性のある計画になるように見直すことが必要である。

町田市景観計画の景観づくりテーマには、「学園都市にふさわしい玉川学園駅前の景観づくり」があげられており、駅前の大銀杏伐採、植栽や花壇の大幅な削減などを実施するデッキ新設計画は、景観審議会を含む決められた諸手続きにより慎重に検討したと思われた。

町田市景観条例の規定による公共事業景観形成指針に定められた事業運用フローによれば、景観担当課の事業調査、景観アドバイザーへの相談、市民意見の把握、景観審議会などの多くの手続きあり、1ヶ月以内にすべてを完了することは不可能であるが、驚くことには、検討委員会が建替基本計画に関する報告書を提出した翌月に、早々とCC建替基本計画が策定された。

このことは、条例等の規定を守らず、各種計画や指針を無視し、義務づけられている手

続き抜きで短時間に決定されたことを示している。

このように、デッキ新設計画は、町田市の厳しい財政難状況下での事業とは思えない高額予算計画であり、しかも景観審議会を始めとする景観条例の目的・規定による手続き抜きで策定された順法精神を無視した計画であることから、正規の手続きによる計画見直しが必須である。

よって、以下の項目を請願する。

請願項目

- 1 デッキ新設計画について、エレベーター整備に加えてデッキを設置する妥当性検討、利用者予測調査等による費用対効果分析を含む事業評価実施等により3.5億円予算のデッキ設置計画の見直しを行うこと。
- 2 大銀杏伐採、植栽や花壇を大幅に削減するデッキ新設計画について、公共事業景観形成指針に定められた事業運用フローに従い、市民意見の把握などを含む諸手続きにより町田市景観計画の「学園都市にふさわしい玉川学園駅前の景観づくり」に沿った計画になるように見直しを行うこと。